

競技に関する注意事項

1 競技規則について

- (1) (公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則2023/2024」及び本大会要項による。
- (2) 試合中負傷者が出たとき、チームの役員は主審の許可があった場合のみ、2名までフィールドに入ることができる。ただし、治療のためではなく、負傷の程度を見て選手を運び出すためである。

2 熱中症対策について

- (1) WBG T = 25℃以上の場合は1分間の「飲水タイム」を、WBG T = 28℃以上の場合は3分間の「Cooling Break」を行う。
- (2) 「飲水タイム」および「Cooling Break」の定義については、(公財)日本サッカー協会が策定した熱中症対策ガイドラインに示されたものに沿う。
- (3) 「飲水タイム」もしくは「Cooling Break」を設定する場合は、試合前またはハーフタイム時に両チームにその旨を知らせる。
- (4) 施設の使用規定により「飲水タイム」時の飲料の補給は水のみとする。
- (5) 「飲水タイム」はあくまでも飲水のための時間とする。ただし熱中症対策として、「飲水タイム」時に体を冷やす目的でスポンジ、タオル、ミスト(霧吹き)を使用することや、ひしゃくでバケツの水をかけることを認める。
- (6) チームは「飲水タイム」時の作戦指示を行わないこと。また、「飲水タイム」開始・終了の主審の笛に従い、速やかに試合を再開すること。
- (7) 「飲水タイム」および「Cooling Break」とは別に、従来どおり、ボールがアウトオブプレーのときに、ライン上で飲水できる。この場合、施設の使用規定によりボトルの中身は水でなければならない。
- (8) 延長戦に入る前には、3分間の休憩をとる。またPK方式により次回戦に進出するチームを決定する場合には、1分間の休憩をとる。いずれの場合も選手はベンチに戻り休憩することを許可される。

3 メンバー表の配付および代表者会議(マッチコーディネーションミーティング)について

- (1) 監督会議の際にメンバー表(5試合分)を配付する。
- (2) 代表者会議は試合開始70分前に、所定の場所で行う。マッチコミッショナー・会場担当・両チーム役員(各1名)・審判員・マッチウェルフェアオフィサーが参加する。
- (3) メンバー表は、試合開始70分前に代表者会議に提出すること。その際、正・副両方のユニフォーム(ゴールキーパーも含めて)を持参する。両チーム立ち会いのもと、試合で着用するユニフォームを決定・確認する。

4 選手交代用紙について

- (1) 選手交代用紙は、監督会議時に各チームに30部配付する。必要事項を記入のうえ、第4の審判席に提出し、その指示に従うこと。
- (2) 選手交代用紙が不足する場合は、各ピッチの本部で受け取ること。

5 選手テント・ベンチについて

- (1) 本部席のテントまたはメインスタンドからピッチに向かい、左側が組合せ表の小さい番号のチーム、右側が大きい番号のチームのベンチとする。
- (2) ベンチには、引率者・監督・コーチ(3名ともIDカード着用)・登録選手18名の計21名までしか入れない。応援団・保護者等は、指定されたスタンド・場所で応援すること。
- (3) 試合終了後、できるだけ早くベンチを空ける。なお、その際ゴミの処理・椅子等の整理を行うこと。

6 試合前および交代選手のアップについて

- (1) 試合開始60分前より35分前までの25分間は各会場指定のウォーミングアップ場を使用する。また、試合前のピッチ内での練習は、登録選手18名のみで行い、試合開始35分前から20分前までの15分間とする。ただし、瀬戸大橋記念公園球技場においては、ウォーミングアップ場の使用を試合開始60分前から30分前までの30分間、試合前のピッチ内での練習を試合開始30分前から20分前までの10分間とする。詳細は別紙を参照すること。
- (2) ハーフタイム時のピッチ内での練習は、試合中のチームの交代選手のみとする。ただし、ピッチ状態が不良の場合には練習を禁止する場合もある。
- (3) 交代選手のウォーミングアップについては、試合中の選手のユニフォームと紛らわしい服装はさける。場所は会場によって異なるので、各会場で指示を受ける。なお、ベンチ着席のときも同様の配慮をすること。ボールを使つてのウォーミングアップは禁止とする。

7 競技場への入場について

- (1) 両チームの選手は、試合開始7分前に本部席前に集合し、背番号・氏名・スパイク・すねあて等のチェックをするが、不備な選手は入場できない。また、そのために試合開始を遅らせることはないので十分注意すること。
- (2) 天候不順等によるアクシデントのために試合が遅れ、次試合開始に影響がある場合は、原則として、前試合終了から30分後に次試合を開始する。なお、その際の試合開始時刻はアナウンスで知らせる。(ピッチ内でのウォーミングアップの時間を10分程度確保する。)

8 その他

- (1) 今大会ではセミマルチボール方式(1試合6球)を採用する。
なお、試合球は、以下の通りとする。

マッチ ナンバー	【 1 】 【 2 】 【 3 】 【 6 】 【 12 】 【 13 】 【 15 】 【 16 】 【 18 】 【 19 】 【 20 】 【 21 】 【 25 】 【 28 】 【 30 】 【 31 】	【 4 】 【 5 】 【 7 】 【 8 】 【 9 】 【 10 】 【 11 】 【 14 】 【 17 】 【 22 】 【 23 】 【 24 】 【 26 】 【 27 】 【 29 】
会場	Pikaraスタジアム 県総合運動公園サッカー・ラグビー場 高松市立東部運動公園第2サッカー場 三木町総合運動公園サッカー場 綾川町総合運動公園競技場	県総合運動公園第2サッカー・ラグビー場 屋島レクザムフィールド 瀬戸大橋記念公園球技場第2グラウンド 瀬戸大橋記念公園球技場第4グラウンド
使用する 試合球	(株) モルテン F 5 A 4 9 0 0	(株) ミカサ F T 5 5 0 B

- (2) 試合後のクーリングダウンは、競技場外またはウォーミングアップチームの妨げにならないように行うこと。